

長泉ジオめぐりマップ

百十数ヶ所の伊豆半島ジオサイトの内、長泉町には10ヶ所のジオサイトがあります。日頃見慣れた風景が、実は、活発な地殻変動と、富士山の噴火で流れ出した溶岩によりつくられた、世界的にも珍しいエリアなのです。長泉町ふるさとカルタでも取り上げられた、各ジオの見どころをよく知ることで、新たな感動を発見してください。



1 つるべ落としの滝 つるべおとしのたき



板状節理の発達した愛鷹山の溶岩にかかる滝で、渇水期は水がなくなり「幻の滝」とも呼ばれる。周辺の遊歩道では、同様の板状節理や、溶岩の上面を溪流が穿った滑沢(千じょう岩)など、安山岩質の厚い溶岩流がつくる地形や構造を楽しむことができる。

愛鷹山水神社より
徒歩1時間



長泉町ふるさとカルタより

3 駿河平 するがだら



愛鷹山麓部にある駿河平は、火山地質を観察できるほか、地形観察にも適している。ゆるやかな火山山麓部からは、ささぎるものなく伊豆半島の山々や、駿河湾の一部を一望することができ、伊豆半島の大地の成り立ちやその地形を概観できるジオサイトである。

静岡がんセンター
北側からの眺め

ルンペンと
吊り橋を楽しむ
自然公園



長泉町ふるさとカルタより

5 牛ヶ淵 うしがふち



長泉町立北中学校北側、溶岩流の流末にかかる落差3~4mほどの滝だが、川幅・淵の広さは滝の規模と比較すると大きい。この淵には戦国時代、武田軍による長久保城落城の際、城の萩姫は逃げる途中、この淵に牛車もろとも転落し、命を落としたという悲しい伝説がある。

萩姫の伝説が残る
牛ヶ淵



長泉町ふるさとカルタより

7 鮎壺の滝 あゆつぼのたき



黄瀬川にかかる高さ9mの滝で、三島溶岩流の南西端にでき、滝の裏側には溶岩樹型も見られる。滝と富士山が絶景であることから「富士見の滝」とも呼ばれ、県の天然記念物に指定されている。滝壺が藍色をしていたため「藍壺の滝」とも呼ばれていた。

長泉町下土狩1080
大鳥ラジオ店となりの
駐車場から徒歩1分

亀鶴姫の伝説ありし
鮎壺の滝



長泉町ふるさとカルタより

9 原分古墳 はらぶんこふん



7世紀に作られた直径16mの円墳で、古墳時代後期の横穴式石室としては、静岡県最大規模を有している。石室からは金銅装の馬具や大刀飾り、須恵器が多く出土し、石棺には「伊豆石」が使われている。

長泉町下土狩1574-1
長泉町営駐車場
(長泉町下土狩1283-11)
から徒歩8分

副葬品の昔を偲ぶ
原分古墳



長泉町ふるさとカルタより

今は無き幻の「牛ヶ淵の屏風岩」!!

以前、牛ヶ淵(いずみ橋)のすぐ下流に、屏風を立てたように見えることから「屏風岩」と呼ばれる奇岩がありました。これは、柱状節理(溶岩の中心部が冷却に伴って収縮し、垂直に割れ目が入ったもの)でしたが、河川改修のため消滅してしまいました。



長泉北中学校西側にあった「屏風岩」

長泉のジオを、動画で楽しもう!!

長泉のジオサイト、ジオの見どころを楽しく学べる動画を配信中心!ぜひご覧ください!!

長泉 ジオジオ 検索

伊豆半島がユネスコ世界ジオパークに認定!

2018年4月17日、伊豆半島ジオパークが、世界ジオパークに認定されました。世界認定は国内9地域目で、世界ジオパークがユネスコの正式事業となってからは国内初です。



長泉町元長窪1

海の神
龍神まる
愛鷹山水神社



長泉町ふるさとカルタより

長泉町下長窪999-4
谷津区北側

下長窪の
田畑潤す
榎田用水



長泉町ふるさとカルタより

長泉町下長窪
高橋バス停東側
徒歩4分

血に染まる
鉦洗いし
鉦ヶ淵



長泉町ふるさとカルタより

長泉町下土狩663

割狐塚
溶岩の上に
稲荷神社



長泉町ふるさとカルタより

長泉町竹原162-2
南部地区センターから
徒歩5分

江戸時代
地震で湧き出た
窪の湧水



長泉町ふるさとカルタより

2 愛鷹山水神社 あしたかやますいじんじや



桃沢川の源流にあたる水源地。明治36年に建立、八大龍王(龍神)を祀り、海洋渡航者や漁師などの信仰を集めている。川が境内に露出した愛鷹山の溶岩の上を流れ、周辺の林道などでは、溶岩流の中にできた板状節理なども観察できる。

4 谷津の湧水 やとのゆうすい



愛鷹山がもたらしている湧水。川が運んだ土砂や火山灰の地層には筋筋もの湧水が、まわりでは多くの動植物が見られる。学校教育など自然観察の場として地元で活用されている。

6 鉦ヶ淵 よろいがふち



黄瀬川の本流にかかる幅10m、落差3mの滝。富士山の溶岩の段差により滝が形成された。戦国時代、長久保城をめぐる合戦で、血に染まった鉦や刀を洗い、使用不能になった鉦を洗った淵、といわれていた伝説がある。

8 割狐塚稲荷神社 わりこつかいなりじんじや



1万年前の富士山の噴火により流れた三島溶岩で形成された、周囲およそ80mの溶岩塚。割狐塚稲荷神社は、その上に建てられた稲荷大神を祀る神社である。岩の中央に亀裂があり、昔、ここから狐が飛び出たという言い伝えが名前の由来である。

10 窪の湧水 くぼのゆうすい



黄瀬川湧水群のひとつ、約2800年前に発生した富士山の山体崩壊に伴う泥流堆積物の露頭も観察できる。1854年安政東海地震により湧水が始まったとされ、農業用水として使われ、1918年には近接する製紙会社からこれを取水し操業を開始した。